

令和 7 年度
北九州リハビリテーション学院
学校関係者評価表

令和7年度 学校関係者評価報告（北九州リハビリテーション学院）

1 教育理念

【現状と問題点】

令和7年度

評価項目	項目ごと	全体
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	適切	適切
学校における職業教育の特性は何か	適切	
社会経済のニーズなどを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	ほぼ適切	
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが保護者等に周知されているか	適切	
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	ほぼ適切	

【関係者評価】

教育理念に関する評価	評価項目	チェック欄	教育理念・目標については、学生便覧やホームページ等を通じて適切に周知されている。 育成人材像や各ポリシーの明確化については、継続的な課題となっている。教育課程編成委員会との連携をさらに深め、社会や関連業界のニーズを踏まえながら、教育課程との整合性を図り、具体化を進めていただきたい。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

2 学校運営 及び 重点目標

【現状と問題点】

令和7年度

評価項目	項目ごと	全体
目的等に沿った運営方針が策定されているか	適切	適切
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	適切	
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	適切	
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	ほぼ適切	
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか	適切	
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	適切	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	適切	

【関係者評価】

学校運営及び重点目標に関する評価	評価項目	チェック欄	学校運営については、組織的な運営体制が整備され、教職員間の情報共有や適切な意思決定が行われていることは評価できる。 人員・役職変更に伴う運営組織や意思決定機能については、継続的な確認が必要である。各組織の役割を明確にし、さらなる業務の効率化につなげていただきたい。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

3 教育活動

【現状と問題点】

令和7年度

評価項目	項目ごと	全体
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針などが策定されているか	適切	適切
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	適切	
学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	適切	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	ほぼ適切	
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しなどが行われているか	適切	
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	適切	
授業評価の実施・評価体制はあるか	適切	
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	適切	
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	適切	
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	適切	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	適切	
関連分野に関する業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するマネジメントが行われているか	ほぼ適切	
関連分野における先進的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	適切	
教員の能力開発のための研修等が行われているか	適切	

【関係者評価】

教育活動に関する評価	評価項目	チェック欄	指定規則改正に対応した各ポリシーの改定について、全職員で審議を進めていることは評価できる。 今後は、教育課程編成委員会の意見を取り入れながら、カリキュラムマップやカリキュラムツリーとの整合性を図り、系統的かつ段階的な教育の実現につなげていただきたい。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

4 学修成果

【現状と問題点】

令和7年度

評価項目	項目ごと	全体
就職率の向上が図られているか	適切	適切
資格取得率の向上が図られているか	適切	
退学率の低減が図られているか	適切	
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	ほぼ適切	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育活動の改善に活用されているか	ほぼ適切	

【関係者評価】

学修成果に関する評価	評価項目	チェック欄	在籍者全員が国家試験に合格し、就職につながったことは高く評価できる。また、学習支援プログラムによる基礎学力の向上や退学者の減少についても、継続的な取り組みの成果と考える。 今後も早期からの学習支援を継続するとともに、同窓会や卒業研修を活用し、卒業生との関係構築や卒業後の状況把握にも取り組んでいただきたい。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

5 学生支援

【現状と問題点】

令和7年度

評価項目	項目ごと	全体
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	適切	適切
学生相談に関する体制は整備されているか	適切	
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	適切	
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	適切	
課外活動に対する支援体制は整備されているか	適切	
学生の生活環境への支援は行われているか	適切	
保護者と適切に連携しているか	適切	
卒業生への支援体制はあるか	ほぼ適切	
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	ほぼ適切	
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	適切	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	適切	

【関係者評価】

学生支援に関する評価	評価項目	チェック欄	早期面談や職員間での情報共有など、在校生への支援については適切な取り組みが行われている。 卒業生や社会人に対する支援については、引き続き課題がある。同窓会20周年や卒業研修を契機として卒業生との関係をさらに深め、ニーズの把握と継続的な支援体制の充実につなげていただきたい。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

6 教育環境

【現状と問題点】

令和7年度

評価項目	項目ごと	全体
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	適切	適切
学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	適切	
防災に対する体制は整備されているか	適切	

【関係者評価】

教育環境に関する評価	評価項目	チェック欄	施設・設備については、指定規則に準じた整備やICT教育環境の充実が図られており、教育環境は概ね適切に整備されている。 開校から年数が経過し、施設・設備の老朽化も考えられる。安全面や教育上の必要性を踏まえて継続的に点検を行い、計画的な修繕・整備を進めていただきたい。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

7 学生の受入・募集

【現状と問題点】

令和7年度

評価項目	項目ごと	全体
学生募集は適正に行われているか	適切	適切
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	適切	
学納金は妥当なものとなっているか	適切	

【関係者評価】

学生の受入・募集に関する評価	評価項目	チェック欄	教育成果や学納金等の情報は適切に開示されており、学外オープンキャンパスや出前講義など、学生確保に向けた新たな取り組みも行われていることは評価できる。 入学者数は定員充足に至っていない。入学定員や学納金の見直しを含む各種施策の効果を検証しながら、より効果的かつ効率的な募集活動に継続して取り組んでいただきたい。 令和9年度募集について、学費は減額した。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

8 財 務

【現状と問題点】

令和7年度

評価項目	項目ごと	全体
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	ほぼ適切	適切
予算・収支計画は有効かつ妥当なものといえるか	ほぼ適切	
財務について会計監査が適正に行われているか	適切	
財務情報公開の体制整備はできているか	適切	

【関係者評価】

財務に関する評価	評価項目	チェック欄	財務情報の公開や会計監査が適切に実施されており、財務管理の透明性が確保されている点は評価できる。 損益悪化の傾向は、卒業生数以上の入学生数を確保しない限り改善しない。入学生確保と休退学者減少を最重要課題として取り組むとともに、教職員間で財務状況を共有し、学院全体で収支改善を進めていただきたい。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

9 法令等の遵守

【現状と問題点】

令和7年度

評価項目	項目ごと	全体
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	適切	適切
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	適切	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	適切	
自己評価結果を公開しているか	適切	

【関係者評価】

法令等の遵守に関する評価	評価項目	チェック欄	法令や専修学校設置基準等に基づいた運営、個人情報の保護、自己評価の実施と公開について、適切な取り組みが継続されている。 今後も法令や制度の変更を適切に把握し、学生及び教職員への周知と指導を継続するとともに、自己評価の結果を学院運営や教育活動の改善につなげていただきたい。 SNS対応において、個人情報の保護に努める。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

10 社会貢献・地域貢献・リカレント教育

【現状と問題点】

令和7年度

評価項目	項目ごと	全体
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	ほぼ適切	適切
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	適切	
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	適切	

【関係者評価】

社会貢献・地域貢献・リカレント教育に関する評価	評価項目	チェック欄	介護予防事業や地域自立支援協議会への参画、学生のボランティア活動への支援など、地域貢献に向けた取り組みは継続されている。 学院の施設や教育資源を活用した地域公開講座やイベント等については、さらなる取り組みを期待する。地域貢献のみならず学院の認知度向上の観点からも、自治体や関係団体との連携を深め、学院を活用した活動を推進していただきたい。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		